

特定健康診査・特定保健指導進捗状況

|                  | 施策の方向          | 展開方向  | 目 標  |
|------------------|----------------|---|--|
| 保健計画・健康ひがしむらやま21 | 特定健康診査・保健指導の充実 | ① 健診・保健指導の必要性に関する普及啓発<br>② 健診を受診しやすい環境づくり<br>③ 特定健康診査・保健指導の質の向上 | ① 健診受診率の向上<br>② 保健指導実施率の向上<br>③ 内臓脂肪症候群該当者及び予備軍の減少 |

◆第2期「特定健康診査等実施計画」（平成25年度～29年度）各年度の目標

|           | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 特定健康診査受診率 | 48%    | 51%    | 54%    | 57%    | 60%    |
| 特定保健指導実施率 | 30%    | 35%    | 40%    | 45%    | 60%    |

| 展開方向  | 平成24年度の取り組み   | 25年度実施計画                                       |
|---|---|--|
| 健診・保健指導の普及・啓発   | ① 広報として、グリーンバス等にポスター掲示。<br>② 特定健診未受診者に対して、個別に受診勧奨通知を送付。（平成21年度より）   | 継続   |
| 健診を受診しやすい環境づくり  | H24年度より、小平市と相互乗り入れ開始。   | 継続   |
| 特定健康診査・保健指導の質の向上  | ① 特定健診・保健指導実施に当たり、医師会説明会の開催。<br>② 健診・保健指導の質を向上させるため、定期的に医師会と検証、情報交換を実施<br>③ 保健指導実施率向上に向け、サンパルネ（健康増進施設）指導員による運動指導実施、継続して施設活用を促す。 | 継続<br>実施内容変更ないため、医師会説明会なし<br>※医師会との定例会議において調整。 |
| 実績（特定健診・特定保健指導実績別紙参照）<br>・ H24年度特定健診受診率 46.3%<br>（前年 1.6 ポイン増）<br>・ （最新）23年度特定保健指導実施率 21.9%<br>（前年 3.1 ポイント減） |   |  |

〈平成 23 年度実績より〉

1. 特定健康診査受診率

表 1 特定健診対象者数・受診者数の推移

(人)

|      | 実績値      |          |          |          |          |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|
|      | 平成 20 年度 | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 |
| 対象者数 | 26,300   | 26,134   | 26,280   | 26,758   | 30,096   |
| 受診者数 | 10,745   | 11,013   | 11,242   | 12,333   | 13,935   |

※H24 年度対象者数及び受診者数は暫定値

図 1 特定健康診査受診率比較

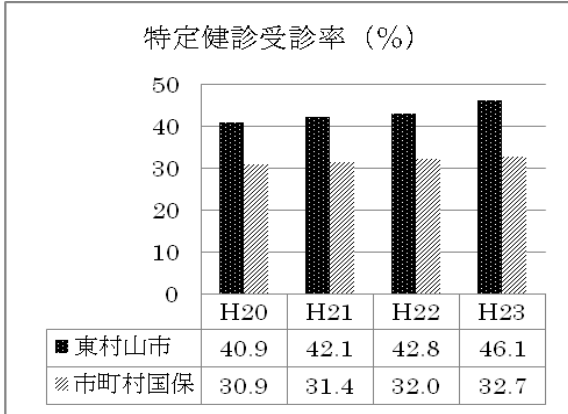
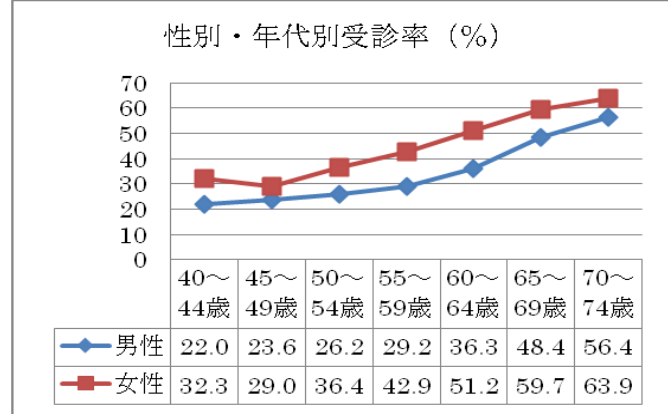


図 2 特定健康診査受診者状況

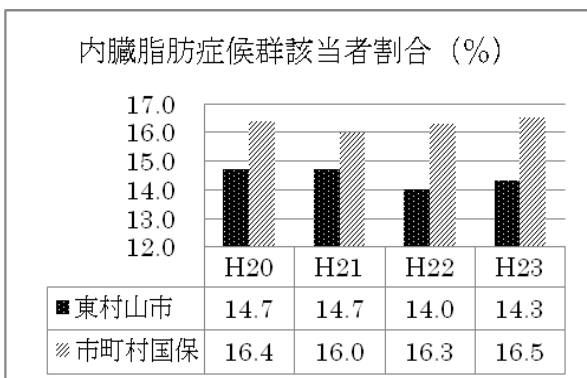


※平成 23 年度市町村国保（全国）平均値は速報値

- 個別に受診勧奨をしたことで、年々微増傾向。全ての年齢層において受診率は伸びている。
- 40～50 代の働き盛り世代においては、依然低い傾向にある。
- 性別・年代別にみると、男女ともに年齢があがるにつれて受診率が高くなっている。
- すべての年代において、男性より女性のほうに受診率が高い。

2. 内臓脂肪症候群該当者・予備群者の割合

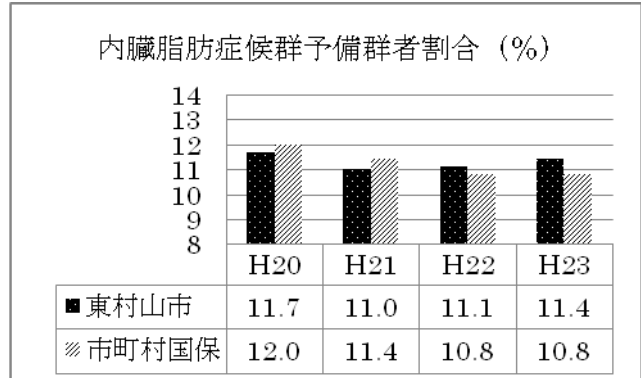
図 3



※H23 年度市町村国平均値は速報値

内臓脂肪症候群該当者の割合は、市町村国保（全国）の平均を約 2 ポイント下回っている。

図 4



※H23 年度市町村国平均値は速報値

予備群者の割合は、11%台で市町村国保（全国）平均とほとんど変わらない状況である。

### 3. 性別・年代別の有所見状況

- 全ての項目において、女性より男性のほうが有所見の割合が高かった。
- 男性は、若いほど肥満該当（BMI25以上）の割合が高い状況にある。特に40歳代の肥満該当は34.2%であり、あわせて中性脂肪有所見の割合も高い。一
- 女性の肥満該当の割合は、40歳代は14.9%で、年齢とともに高くなり、70歳以上で19.5%となっている。
- 病態別では、男女ともに年齢とともに高血圧・高血糖の割合が高くなり、女性は脂質異常の割合も高くなっている。

### 4. 腹囲基準該当者のリスク保有状況

図5

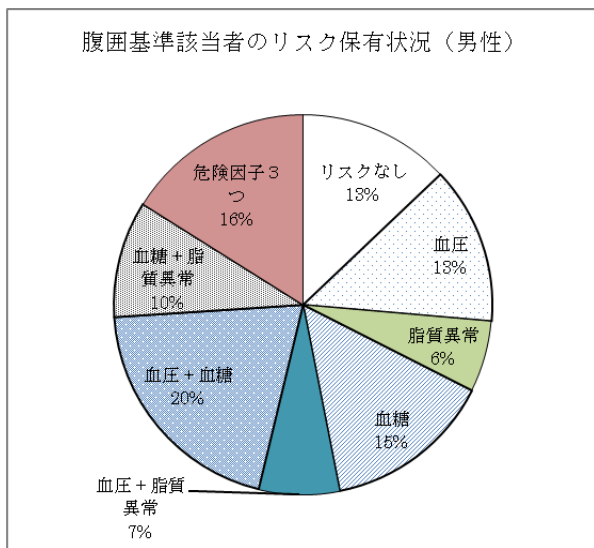
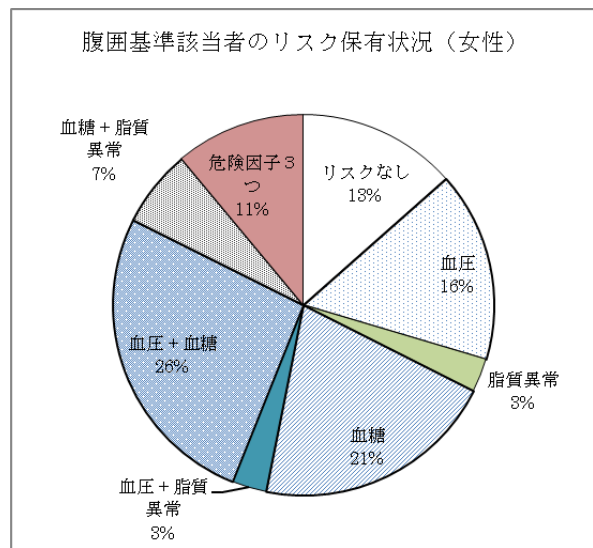


図6



平成23年度特定健康診査受診者のうち腹囲基準該当者について、男性は過半数が2つ以上の複数の危険因子を持っており、特に危険因子3つを合わせ持っている割合が高い状況にある。女性は男性よりも、血圧、血糖のリスク保有の割合が高い状況にある。

### 5. 特定保健指導実施率

表2 特定保健指導対象者数・対象者の割合

|                 | 実績値    |        |        |        |        |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
|                 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 |
| 特定健康診査受診者数（人）   | 10,745 | 11,013 | 11,242 | 12,333 | 13,935 |
| 特定保健指導対象者数（人）   | 1,488  | 1,356  | 1,288  | 1,400  | 1,507  |
| 特定保健指導対象者の割合（%） | 13.8   | 12.3   | 11.5   | 11.4   | 10.8   |

※H24年度特定健康診査受診者数・特定保健指導対象者数及び割合は暫定値

図 7

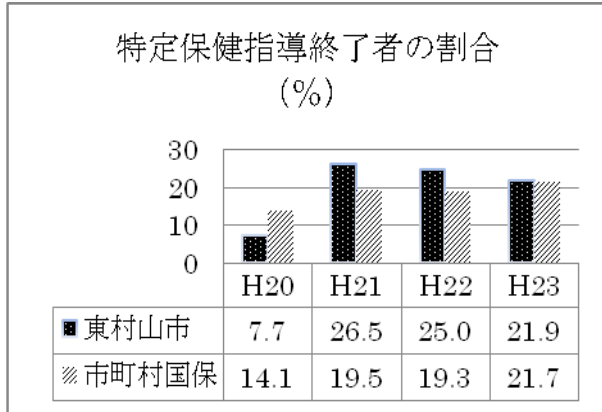
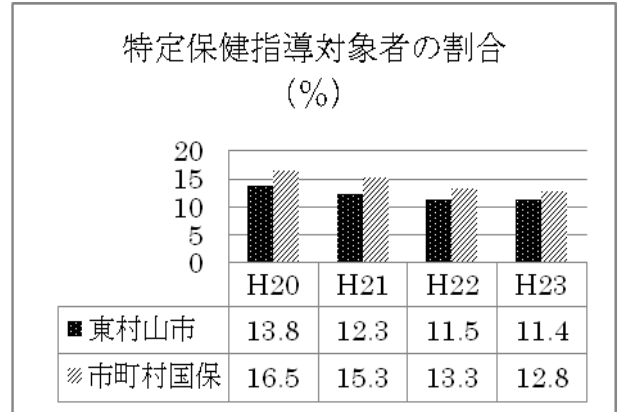


図 8



※特定保健指導終了者は、年度途中 10 月までの終了者しか当該年度に含まれない。11 月以降の終了者は翌年度の実績に計上されるため平成 20 年度は低く、平成 21 年度は高い割合になっている。

※平成 23 年度市町村国保（全国）平均値は速報値

特定保健指導終了者の割合は市町村国保（全国）平均に比べ高い割合で推移している。特定保健指導対象者の割合は、経年的に微減傾向にあり、市町村国保（全国）平均より約 3% 下回った状況で同じような推移となっている。